

日暮らしの恋心



R18  
ADULT  
ONLY



HIYORI FANBOOK  
SORAxBASYO



たとえば赤い  
夕日の前

曾良君、  
夕日が  
すごいよ！



たとえば褥とこに  
漏れ入る月の下



…曾良君



たとえば杉の  
林の中

曾良君、  
ほら！

君の名を呼ぶ

その度君の  
表情が歪む

どうしたの

曾良君

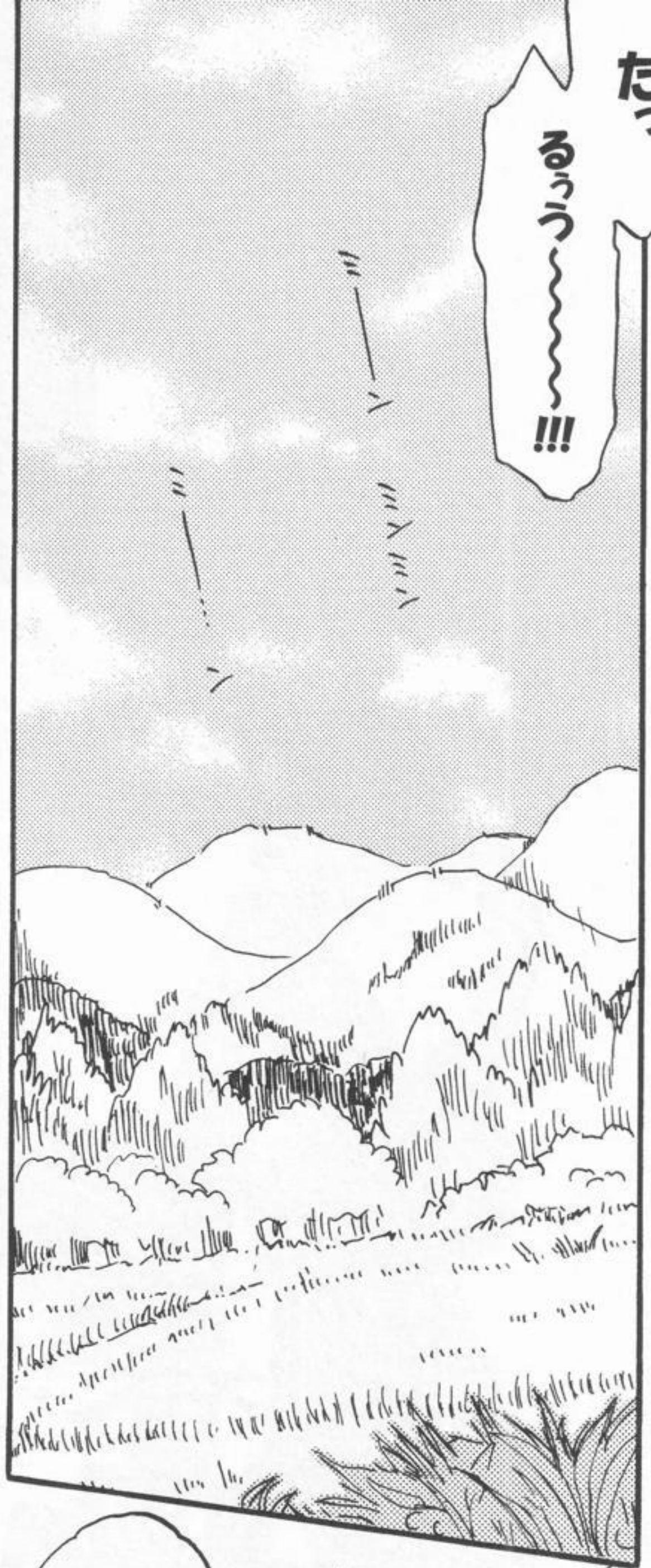
その理由を

知っ  
てい  
て言  
わせ  
ない  
私  
は 多  
分



だっ

るっ~~~~!!!



あついでい!  
なんか今日  
蒸し暑いよ〜!

冷やしあめ飲みたい  
スイカでもいいっ

ねー曾良君  
近くに茶屋とか  
ないかなあねえ〜

おたおたおたおた

茶屋はないよう  
ですが…

一刻ほどで  
次の宿場へは  
着けるようです  
スットコドッコイ

えっホント?  
ん? スットコ?

いいから行きましょう  
スットコドッコイ  
芭蕉さん

どうやら聞き間違いじゃ  
ないみたい!  
師匠を罵倒すんなよ君っ





元はといえは  
君が昨晚  
無茶する  
からだよ！

おかげでまっお  
股関節が  
限界だよ！

はあ…



さっきから一分おきに  
だるいの疲れたのと  
うざったいんですよ

で…弟子に  
うざったいと  
言われた…  
地味に  
シヨックだ

シヨック受けないで  
下さいうざりたい

わ…私は並の人間より  
繊細なのだよ！  
さすが俳聖！



どうしたの？

曾良君！

…僕は

いつまで  
あなたを

それなんですけど  
…芭蕉さん

ん？



……いえ



芭蕉さんの股関節は  
多少ストレッチした方が  
いいんじゃないですか？

よかれと思って  
やってたのアレ!?

老化に  
ともなう  
関節硬化が  
深刻だった  
もので

お…大きなお世話だ  
アホ——!!  
バカ! 鬼弟子!!



鬼弟子に  
こらしめられて  
たまるか!

アホとバカは  
撤回して下さい  
芭蕉さん  
こらしめますよ

言わせないよ



だつて空は  
こんなにも広く

山は遙か

森は閑かに  
りと鳴る

手の届かぬものは  
こんなにも愛しい。

ようし私の  
健脚っぷりを  
見せてやる！

宿まで一刻と言わず  
半刻で到達してやるよ！

あまり急がないで下さい  
すつ転ばせますよ

君が転ばすの!?



だから君は  
いつまでも

僕 芭蕉さんの  
出鼻をくじくのが  
趣味なので…

弟子の言葉とは  
思えない!!



じゃあさ、ゆっくりに  
歩くから宿で  
マッサージしてよ

わかりました  
ひき肉になるまで  
殴打しましょう

いちいち  
おつろしいな！  
もうっ！





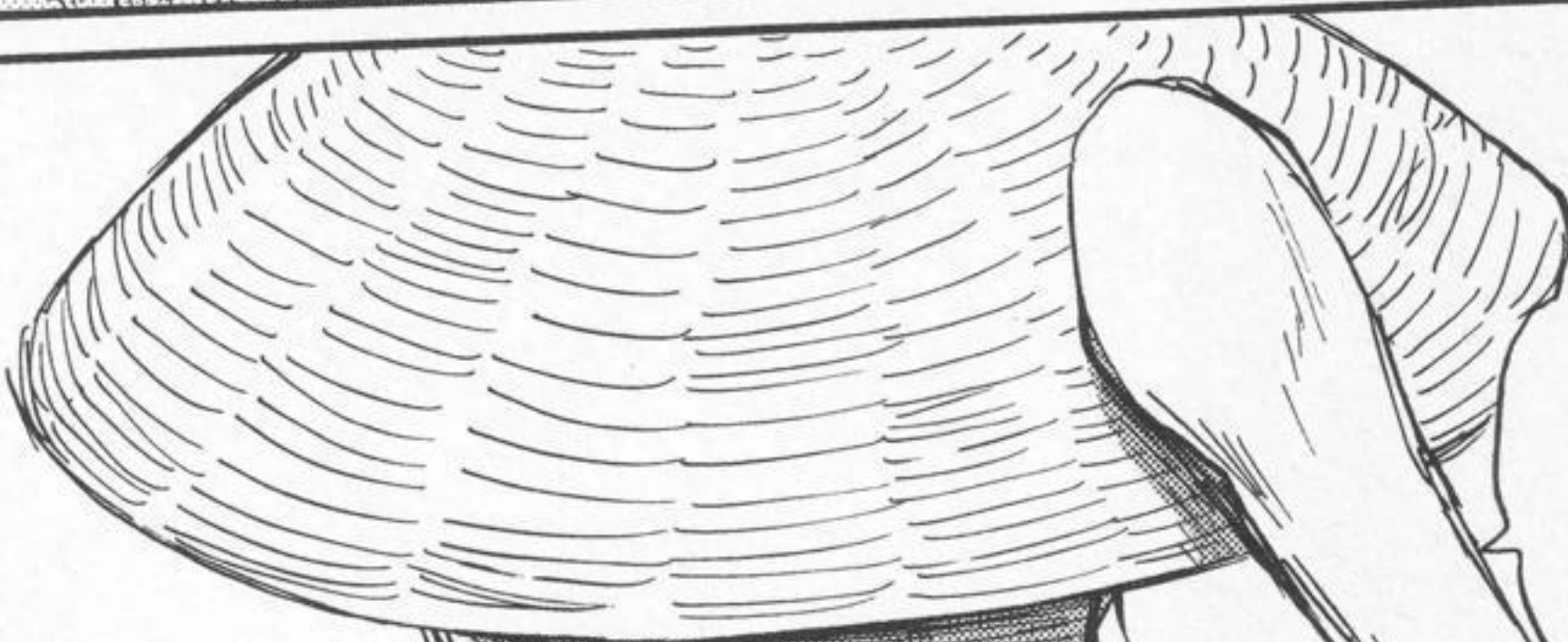
少しは  
優しくしてよ！  
恋人だろ！

私のものには  
なっちゃんいけな



寝言は  
寝て言いなさい

バカジジイが



チエ

けち！

私を好きだと  
言っちゃんいけな

...

私もちよつと  
悪いかなあとは  
思うんだけどね

三三

ふい~~~~  
いい湯でした  
……と

さすがにちよつと  
不機嫌  
だったもんな

えへへー  
でも!  
お酒もらって  
きちやったもんね

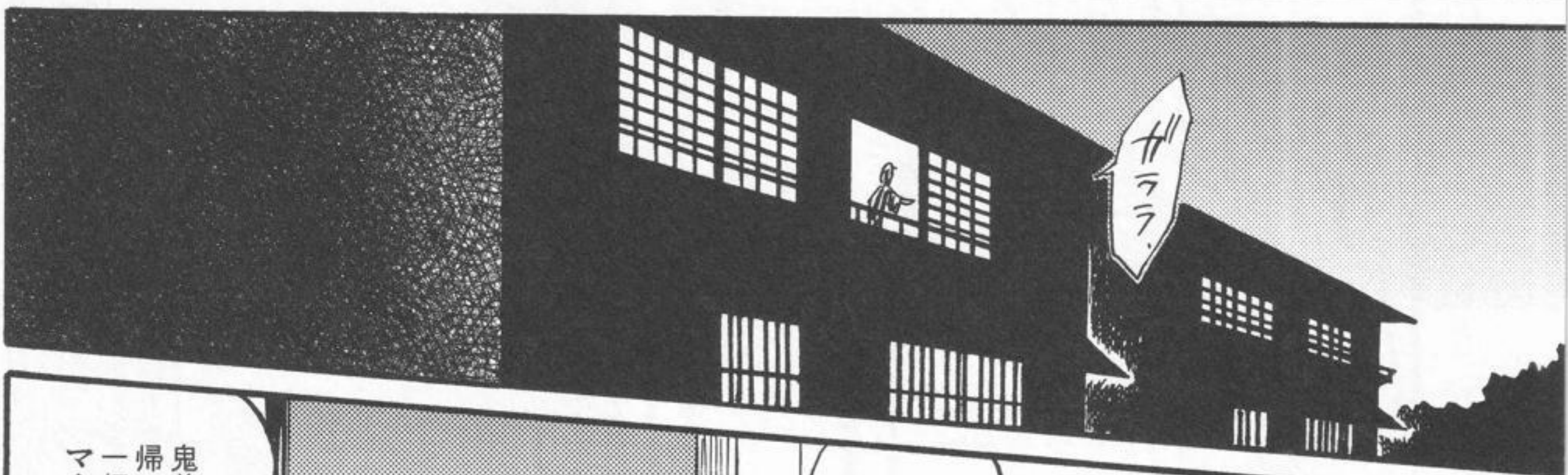
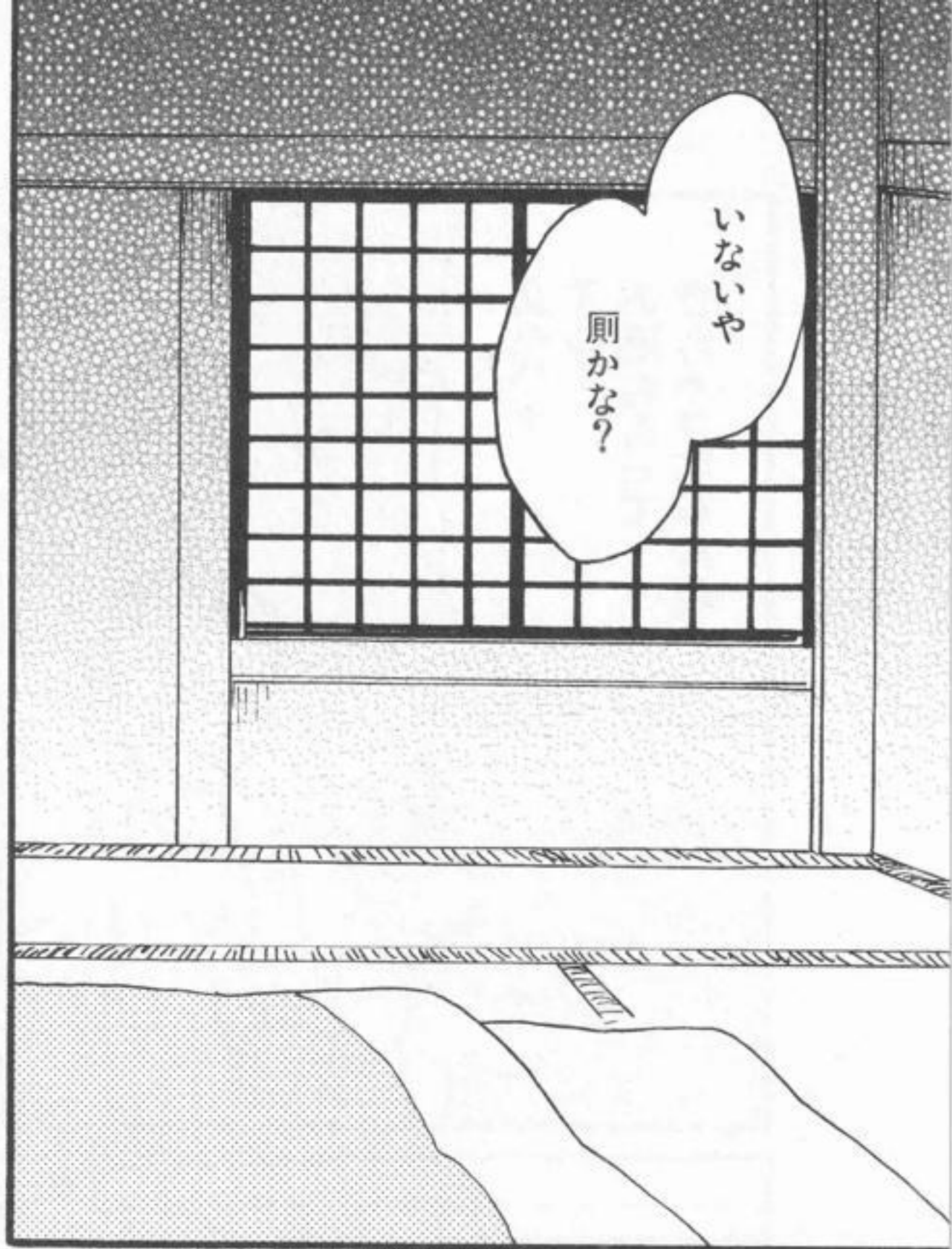
月

弟子の寝顔で  
一杯やろう

なんつって  
ちよつと  
オッサン趣味?  
悪趣味?

曾良君もう  
寝てるかな?

……あれ





ぬるい夜風と

マーフィー君と…

ほい乾杯!

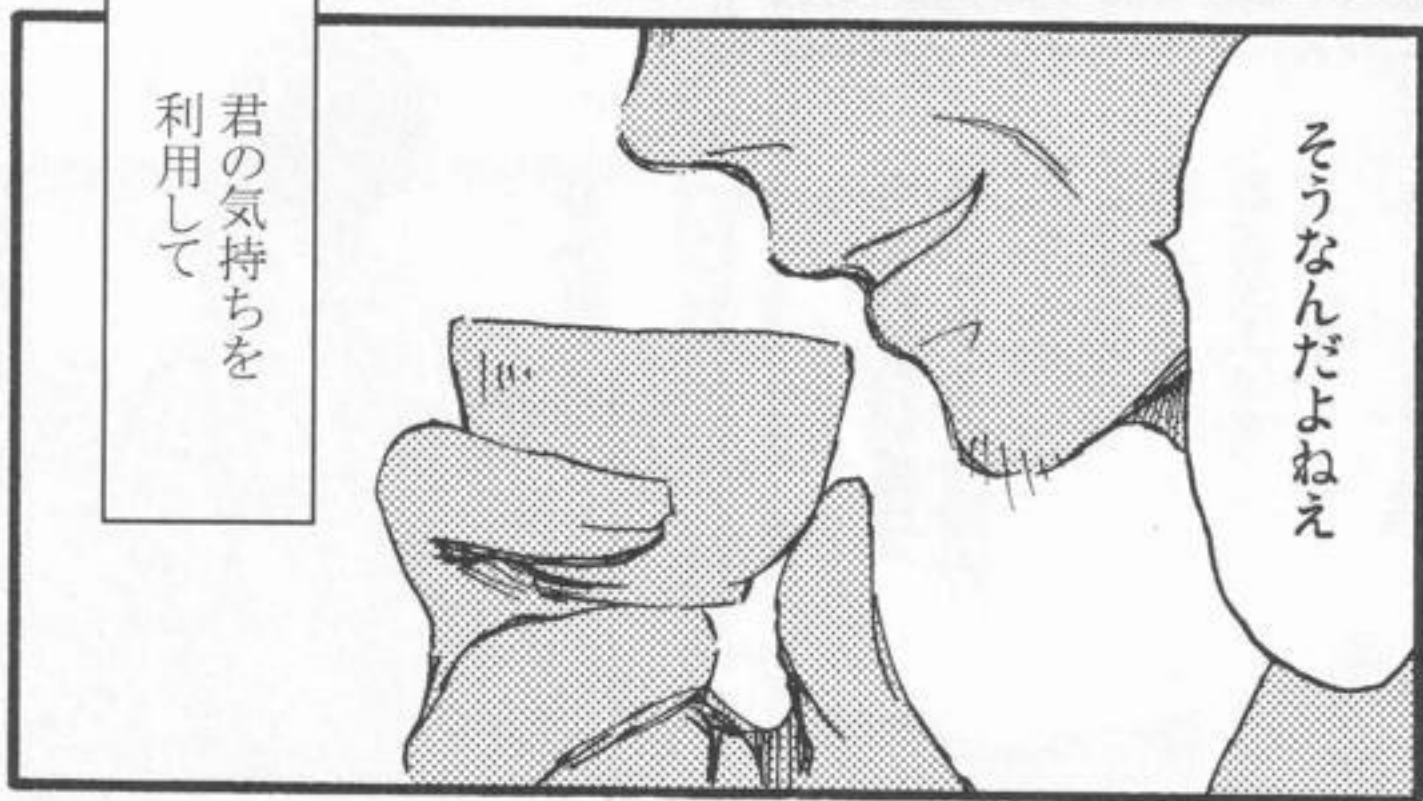
んらやっぱ  
曾良君がいないと  
さびしいねえ

おっ：  
マーフィー君も  
そう思う?



そうなんだよねえ

君の気持ち  
を利用して



気をもたせる  
ようなこと言ったり

知らんぷり  
してみたり



自分の気持ちに  
嘘までついて

…ホントはね

とても、  
すごく  
好きなんだ

言いたかない  
けどさあ

私より  
曾良君の方が  
長生き  
するよね？

私だよ  
あの子に死に水  
とってもらうのは



ずうっと一緒に  
いたいんだ  
けどね

なんせあの弟子  
私のこと大っ好き  
だもんな！  
ビエエツて  
泣いちゃうよ  
ビエエツて

その涙が川になり  
いつしか曾良湖が  
できるという伝説が

曾良湖

それにほら  
まつお  
師匠だし

俳聖だし





生活力からして  
皆無だもんな  
私：

米もしょうも  
油もヤシタ  
芭蕉

さっさと曾良君を  
手放してあげた方が  
いいかなあとは  
思うんだ



旅に生きて  
旅に死にたい

なんて

まともに人を  
愛せるわけない



早けりや  
早いほど  
いいよね

じゆう

私もなかなか  
踏ん切りが  
つかなくてね…

だから君を縛る

たったひとつの  
私の力で

…「私のものには  
ならないで」

言の葉で  
君を縛る

「だけど」

「どこにも  
行かないで」

ありつたけの力で  
君を縛る。



一組だけ  
敷かれた布団

いや?  
いや?

いやいやいや  
それはないよ

荷物…

曾良君の  
荷物が

ない

……うそ

うそ…

うそだろ…

まって

ちょっと  
待って

そりゃいつかは  
離れようって  
思ってたけど

はやいよ  
曾良君!

まだ無理

まだ  
行かないで

意地悪したの  
あやまるから

ばか

こんなのは  
当然の結果で

鬼弟子

馬鹿も鬼も  
私の方で

曾良君の  
アホ…

ふぎやっ!?

ガッ



アホとバカは  
撤回して下さい  
芭蕉さん

踏み潰しますよ。

もう  
潰しとる...



帰ったんじゃ  
なかったの...?

曾良君

...



ここ  
隣の部屋です  
芭蕉さん。



荷物もないし！  
いつまでたっても  
戻ってこないし

私てつきし...

何か勘違い  
してるようですが



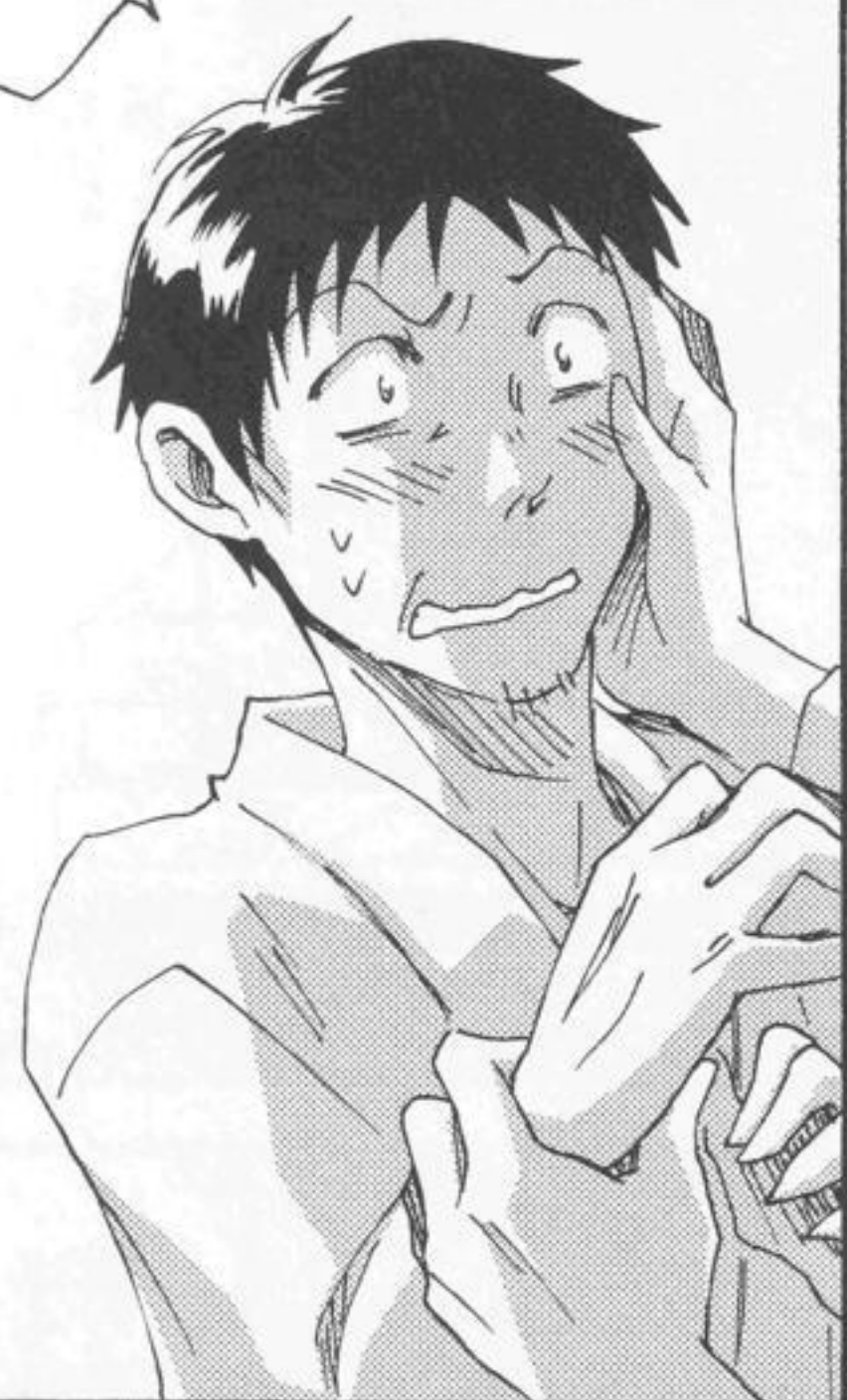
芭蕉さんが死んでも  
曾良湖ができるほど  
泣いたりはいしません

うおっちゃあ  
ほぼ全部  
聞かれてた！

全部聞きました  
このマヌケが

アキマアアアアアアアアア

おっしやる  
とおりだよ  
千クシヨウ！



あんたが  
先に死のうが

あんたがどれだけ  
心苦しからうが

僕は  
知ったことじゃ  
ないです

ド



触れたいから  
触れます







あんだだって  
やりたいように  
やればいい



欲しいなら  
欲しいと  
言えればいい



ムカついたら  
蹴ります

蹴らんぞいで!


知ったことじゃ  
ないです



僕もあんだも  
俳句なんて  
詠んでない。




理屈で全部  
片付けられるなら、



なんて  
不安定で

なんて  
刹那的で



なんて真摯な恋を  
してしまったんだろう



その日暮らしの旅みたいな恋。

勝手気ままに  
生きる私を

あんたいつも  
言ってるでしょう

「そのまま素直に  
詠めばいい」って

…?

小器用な嘘なんか  
つかれると  
ムカつくんです

自由でバカで  
弱くて勝手に  
…芭蕉さんは  
それでいいです

それいいの!?  
人として!

いいんです

それが僕の  
惚れた人です。

…そうかあ



君はそれでいいと言いつつ。

あれっ曾良君  
顔赤い？

うるさいです



照れてんの？  
ねえ照れてんの？  
こっち向いてよー

あまりしつこいと  
後ろ向きに立たせて  
壁にガンガン  
打ちつけながら  
犯しますよ

嫌ですけど!?

好きでしょう  
そういうの

あいにくもくまで  
レベル高い性癖は  
持ち合わせとらんよ!

おや芭蕉さん  
あの壁なんか  
どうでしょう

ふつうで  
いいです!

ふつうが  
いいです!!



ガンガン

…



曾良君が  
好きです！

やっと  
言いましたね

……  
老い先短い  
身なんですから  
素直になった方が  
いいですよ

短くないよ！  
あと五百年は  
生きてやるよっ

五百年  
どころか……

あとひと夏  
もつかどうかも  
あやしいですよ

なんてこと  
言いやがる  
この弟子！

そうだね  
セミはね！  
私は五百年  
生きるけどね！

セミって大体  
そうじゃないですか



ホーっとお供  
させちやうもんね  
覚悟しろっ

はいはい

五百年後も  
曾良君は  
私の弟子ね!

夏が終わるまで精一杯 うたう



僕は団子の  
方がいいです

絶対どっかで  
ひやしあめ  
飲もうよ、  
ねえ

ね、曾良君  
明日  
晴れるかなあ

私はきっと  
ひぐらしの恋をしている。

●あとかき●

最後までお読みくださってありがとうございました！  
ずるっこい感じの芭蕉さんが描きたいなあと思いながら描き進めていた本でした。  
嘘をついたり勝手だったり気まぐれだったり、でもだからこそ芭蕉さんは  
(スランプでさえなければ) ものすごくいい句を生むんですよ、と  
…だったらいいなという妄想です

原作の芭蕉さんと曾良君の会話は毎度神がかっていると思います  
曾良君の辛辣な台詞に芭蕉さんがぶっとんだ返しをするあの空気  
俳人ってすげえ…！と興奮しきりです

いっぱい山とか窓とかを描けて楽しかったです…！  
曾良君がちょっと少なめだったのが悔やまれます  
もっと二人でいるとたくさん描きたかった…次回！次回！

お付き合いくださって本当にありがとうございました！  
もし、少しでも楽しんで頂けていたら至福です。

道草一過・サエキ



-日暮らしの恋-

【協力】  
サムライ  
枝庭

【印刷】  
栄光

【発行】  
2012年8月11日

Presented by  
道草一過

<http://michikusaikka.nomaki.jp/>

※ネットオークションなど一般の方の目に触れる行為はお堪忍ください※